

今年の米価下落にあたって生産コストに見合う米価 のため緊急対策を求める建議

内閣総理大臣 安倍晋三 様

平成26年8月27日 千葉県匝瑳市農業委員会決議

わが匝瑳市は田園都市として農業を主たる産業として成長発展してきました。

市として農業振興のため「地産地消・食の安全と自給率向上都市宣言」「米の輸入自由化阻止都市宣言」「農作業安全都市宣言」の街であります。

農業の経営安定なくして地域経済と市の発展はありません。

早場米地帯である当地域で最近の低米価に対し衝撃が広がっています。

農林水産省の試算では、コメ1俵(60kg)当たりの平均生産費は約16,000円(H23年産生産費)かかるなか、8月下旬のJAの買取価格は9,000円台、から8,000円台という想定外の下落になっています。この2年間で5~6,000円もの大幅下落です。

この事態を放置すれば担い手、後継者がコメ作りを見放します、一層の高齢化、農業人口の減小、農村部の人口減、過疎化の進行、畑に続いて水田の耕作放棄地が拡大し農地の荒廃、用排水路が雑草で繁茂し災害の拡大に結びつき地域が衰退してしまいます。

米価下落は食料自給率を低下させ深刻な事態を招きます。この農業の窮状にあたって政府関係機関があらゆる対策をとることを強く願うものであります。

以下の事項を早急に実施されるよう求めます。

記

- 1 米価下落対策本部を立ち上げ、全国の米価の実態を緊急に調査把握し深刻な事態を公表し緊急対策をとること
 - 2 備蓄米の買い上げを実施すること
 - 3 備蓄米を飼料米や食料不足で苦しむ諸国に支援米として送ること
 - 4 異常な米価であり諸外国なみの価格保障、所得補償で生産コストに見合う米価制度の確立をすること
 - 5 ミニマムアクセス米の輸入の削減、廃止をすること
 - 6 その他、家族農業年にふさわしい、家族農業を守ることでできる米価回復の諸対策を実施すること
- 以上、建議いたします。

平成26年8月27日

千葉県匝瑳市農業委員会 会長 大木 一夫